

いちき串木野市議会
議会活性化推進特別委員会
《最終報告書》



令和5年9月11日
議会活性化推進特別委員会

【目 次】

1. はじめに	【1】
2. 設置期間、目的、組織	【2】
(1) 特別委員会の設置期間	
(2) 設置の目的及び根拠	
(3) 組織及び委員名簿	
3. 調査項目（5項目）	【2】
4. 委員会の開催	【2】
5. 検討内容、結果について	【3~10】
6. その他（資料等）	【11~19】
(1) いちき串木野市議会活性化のための市民アンケート	
○資料1（アンケート用紙）	（11~12）
○資料2（調査結果）	（13~14）
(2) 串木野高校生との意見交換会	
○資料3（開催要項）	（15~16）
○資料4（実施結果）	（17）
(3) いちき串木野市議会の政策提言	
○資料5（取組要項）	（18）
(4) 「議員と語る会（意見交換会）」の新たな取組について	
○資料6（開催要項）	（19）

1. はじめに

市政運営に関する重要な意思決定や行政執行に対する監視機能など、市議会に求められる役割がますます増大する中、市議会の活性化及び議会機能の強化を図るために、令和4年2月、「いちき串木野市議会 議会活性化推進特別委員会」を設置した。

約1年半、16回にわたって特別委員会を開催し、「政策の立案・提言について」「市議会議員を目指しやすい環境の検討について」「語る会の充実について」「議会の充実について」「映像配信・情報公開について」の5項目を調査項目として定めて、検討を重ねてきた。

取組を進めるにあたり、「市民アンケート調査」を実施して、394件の回答をいただき、意見や要望等を的確に把握・分析を行なった。

まず、アンケートによる貴重な意見を活かし、「いちき串木野市議会の政策提言の取組要項」を作成し、市政上の課題の解決に向けて積極的に政策提言等を行なうこととした。「議員と語る会」については、新たな手法で取組を進めるための「取組要項」を作成し、令和5年度からの実施に向けて周知を図るなど、既に一部取り組みを始めている。

このほか、民生委員・児童委員、高校生、まちづくり連絡協議会との意見交換会を実施し、少子化対策への取組み等、市議会に対しても貴重な意見もいただいたところである。

とりわけ、「串木野高校生との意見交換会」については、本市議会初となる取組であり、高校生の政治に対する理解と関心をもってもらうとともに、議会としても高校生のまちづくりへの思いを知る貴重な機会となった。

その他全ての項目について、委員に意見を求め、アンケート調査の結果をもとに対応を協議し、方針・方向性を整理した。

議会活性化推進特別委員会における調査の終了にあたり、これまでの調査・研究の結果等について報告する。

2. 設置、目的、組織

(1) 特別委員会の設置期間

令和4年2月21日から 令和5年10月31日まで

(2) 設置の目的及び根拠

議会運営の円滑な推進、議会及び議員活動の活性化並びに議会機能の充実強化を図ることを目的とした調査研究を行うため、「議会活性化推進特別委員会」を設置。

(3) 組織及び委員名簿

①議会活性化推進特別委員会

[委員8人で構成（各常任委員会から4人ずつ）]

○委員長 中里純人	
○副委員長 松崎幹夫	
○委 員 西田憲智	○委 員 田畠和彦
○委 員 高木章次	○委 員 田中和矢
○委 員 東 育代	○委 員 福田清宏

3. 調査項目

◆特別委員会を設置後、当初で5の調査項目を設定

- (1) 政策の立案・提言について
- (2) 市議会議員を目指しやすい環境の検討について
- (3) 議員と語る会の充実について
- (4) 議会の充実について
- (5) 映像配信・情報公開について

4. 委員会の開催

- | | |
|-----------------------|-----------------------|
| ・第1回特別委員会（令和4年2月21日） | ・第2回特別委員会（令和4年4月25日） |
| ・第3回特別委員会（令和4年5月19日） | ・第4回特別委員会（令和4年6月29日） |
| ・第5回特別委員会（令和4年7月25日） | ・第6回特別委員会（令和4年8月22日） |
| ・第7回特別委員会（令和4年10月4日） | ・第8回特別委員会（令和4年11月7日） |
| ・第9回特別委員会（令和4年11月30日） | ・第10回特別委員会（令和5年1月12日） |
| ・第11回特別委員会（令和5年2月9日） | ・第12回特別委員会（令和5年4月18日） |
| ・第13回特別委員会（令和5年5月26日） | ・第14回特別委員会（令和5年7月27日） |
| ・第15回特別委員会（令和5年8月18日） | ・第16回特別委員会（令和5年9月8日） |

5. 検討内容、結果について

(1) 政策の立案・提言について

【検討項目】

①市民アンケートの実施

具体策・課題等	対応・取組・成果
・市民アンケートの方法	<ul style="list-style-type: none">・アンケート案をもとに質問項目等を検討。・アンケート内容の確定。・追加事項（調査のお願い、回答方法等）の確認。 (11月7日号市議会だよりへの掲載及びLINEによる告知。11/7～12/9の実施期間)・アンケートの集計・報告（第10回委員会） (回答数…394件 ※うちウェブ回答291件) 〔注〕「資料1」参照(P11～12)
・議会の情報をどのようにして得ているか。	<ul style="list-style-type: none">・市議会だよりから62.5%が情報を得ているという結果であった。その他、市ホームページや議員の発行する広報誌から情報を得ているという回答も多かった。
・市民からの意見聴取	<ul style="list-style-type: none">・アンケートの回答結果を分析し、いただいた意見を参考に検討した。調査結果については、5月8日号市議会だよりに掲載した。 〔注〕「資料2」参照(P13～14)

②議会モニター制度の検討

具体策・課題等	対応・取組・成果
・議会モニター制度	<ul style="list-style-type: none">・傍聴等を通してご意見をいただく議会モニター制度について、<u>本市で導入できる制度か、今後、調査・研究する。</u>
・市議会だよりのモニター制度	<ul style="list-style-type: none">・広報に特化してご意見をいただく市議会だよりのモニター制度について、<u>本市で導入できる制度か、今後、調査・研究する。</u>

③幅広い市民意見の聴取

具体策・課題等	対応・取組・成果
・各種団体等との意見交換	<ul style="list-style-type: none">・民生委員との意見交換会を開催した。 (令和4年10月12日、アクアホールにて、 参加者数：議員15人、民生委員約80人)・串木野高校生との意見交換会を開催した。 (令和5年2月3日、市議会議場にて、 参加者数：議員16人、高校生18人) 〔注〕「資料3」「資料4」参照（P15～17）・まちづくり連絡協議会との意見交換会を開催した。 (令和5年2月7日、防災センター会議室にて、 参加者数：議員16人、 まちづくり連絡協議会16人)
・議員と語る会での意見交換	<ul style="list-style-type: none">・令和2年以降、コロナ禍により「議員と語る会」を実施できない状況が続いている。今後は、幅広く各種団体等と意見交換することとして、<u>開催要項を作成し、新たな取組としてスタートする。</u>
・その他の手段による意見交換	

④課題調整会議（正副議長・常任委員長）の設置

具体策・課題等	対応・取組・成果
・会議の構成メンバーの選定	<ul style="list-style-type: none">・政策提言の実施に向けて課題調整会議（仮称）を設置してはどうかという趣旨で検討を始めたが、各常任委員会に「推進員」を置いて、政策提言に取り組むこととし、課題調整会議（仮称）は設置しない。
・調整項目、調整方法の確認	
・方針等の決定 (項目の決定等)	

⑤常任委員会による政策提言の検討

具体策・課題等	対応・取組・成果
・常任委員会での協議	・政策提言を計画的に、確実に推進していくために、各常任委員会に2～3名の推進員を置くこととして、「いちき串木野市議会の政策提言の取組要項」を作成。令和5年11月以降、年1回の提言に向けて取り組む。
・項目の絞り込み	〔注〕「資料5」参照（P18）

⑥議員（議会）による条例等の提案

具体策・課題等	対応・取組・成果
・条例、規則等の提案	・必要に応じて提案する。

(2) 市議会議員を目指しやすい環境の検討について

【検討項目】

①議員報酬の見直し

具体策・課題等	対応・取組・成果
・議員報酬が低くてなり手がないのではないか。	・議員報酬が低く、なり手がないのではないかといった懸念があり、市民アンケート調査を参考に検討した。アンケートでは、議員報酬は「妥当である」との回答が最も多かったものの、「少ない」「多い」といった回答も一定数あった。その他、「若い世代に手厚くしてほしい」「議員定数を減らして、報酬を上げるべき」といった意見も寄せられた。 多数の委員から、「議員定数を削減し、報酬を上げるべき」といった意見があり、 <u>今後、定数及び報酬に係る特別委員会を設置し、定数と報酬を併せて検討することとした。</u>

②政務活動費の見直し

具体策・課題等	対応・取組・成果
・現在の政務活動費の額は妥当か。	・市民アンケートでは、「妥当である」「わからない」といった意見が多かった。その他、「1万円では何も活動ができない」という意見もあった。協議の結果、現状の月額1万円とした。

③女性が議員を目指せる環境づくりの検討

具体策・課題等	対応・取組・成果
・クオータ制等の検討	・市民アンケートにおいて、女性が議員を目指すために必要なこと、問題点や課題について質問したところ、家族（家庭）の理解、育児（託児）や子育て、社会の意識改革が必要といった回答が多かった。 委員からも「まずは女性の意識改革が必要ではないか」といった意見があり、現時点においては、意識の醸成に取り組むことが必要・先決であり、クオータ制は導入しないこととした。

※クオータ制とは…議会における男女間格差を是正することを目的とし、性別を基準に女性又は両性の比率を割り当てる制度。

④議員政治倫理条例の検証、見直し

具体策・課題等	対応・取組・成果
・なり手不足との関係 ・立候補の足かせにならないか。	・議員政治倫理条例が、議員のなり手不足、立候補の足かせになっているのではないかという懸念から検討した。令和4年度から令和5年度にかけて、議員と地方自治体との請負について、地方自治法の一部改正がなされたことから、 <u>議員政治倫理条例</u> については、今後、 <u>地方自治法の一部改正の内容を含め、議会運営委員会等で調査・研究する。</u>

(3) 議員と語る会の充実について

【検討項目】

①議員と語る会の開催方法、あり方の検討

具体策・課題等	対応・取組・成果
・高校生との意見交換	・串木野高校生との意見交換会を開催した。〔再掲〕 (令和5年2月3日、市議会議場にて、 参加者数：議員16人、高校生18人)
・各世代を対象にした語る会の開催等	・民生委員との意見交換会を開催した。〔再掲〕 (令和4年10月12日、アクアホールにて、 参加者数：議員15人、民生委員約80人) ・まちづくり連絡協議会との意見交換会を開催した。 〔再掲〕 (令和5年2月7日、防災センター会議室にて、 参加者数：議員16人、 まちづくり連絡協議会16人)
・各団体や若い世代の参加を募る方法の検討	・議員と語る会（意見交換会）については、平成20年度から12年間実施し、議会と市民を繋ぐ重要な機会となっていたが、令和2年からコロナ禍により実施できない状況が続いてきた。また、近年は、若者の参加が少なく、マンネリ化しているとの指摘もあった。
・外国人との意見交換	<p>このようなことから、議員と語る会について、新たに「議員と語る会（意見交換会）」の新たな取組について《開催要項》」を策定し、令和5年度から、女性団体や高齢者団体等の各種団体から幅広くご意見をいただくこととした。</p> <p>本年8月から議会だより等を活用し、市民や各種団体への周知・広報に努めながら、実施に向けて取り組んでいる。</p> <p>〔注〕「資料6」参照（P19）</p>

②ハイブリッド型の取組の検討

具体策・課題等	対応・取組・成果
・議員と語る会でのZOOM等の活用	・議員と語る会等で、ZOOM等を活用し、リモートでの参加を可能とすることで、子育て世代の方々をはじめ、直接会場に出向くことが困難な方の参加も期待できるほか、感染防止対策としても有効であると考えられる。 しかしながら、現時点では、市議会においてもタブレット端末の研修に努めている段階であることから、ZOOM等については、 <u>活用・導入に向けて今後、研修会等を開催する。</u>

(4) 議会の充実について

【検討項目】

①議会BCP（業務継続計画）の策定

具体策・課題等	対応・取組・成果
・大規模災害対応指針をもとに対応を検討	・コロナ禍における議会BCP（業務継続計画）を策定してはどうかといった趣旨で検討したが、新たに議会BCPは策定せず、新型コロナウイルス等の対応についても盛り込まれている「大規模災害対応指針」及び「対応マニュアル」により対応することとした。

②通年議会の検討

具体策・課題等	対応・取組・成果
・専決議案の解消 ・メリット、デメリットの研究	・通年議会とすることで、専決処分を回避し、議会における審査、調査を充実させるとともに、災害等の突発的な課題にも対応できるのではないかといった観点から検討した。専決処分の削減や契約議案等の早期議決が可能となるなどのメリットがある。一方で、執行部を拘束する時間の増加による住民サービスの低下や、本会議が増加することにより経費の増となるなどのデメリットもある。現時点においては、通年議会を実施しないと不都合という状況ではなく、通年議会は採用しないこととした。

(3)議会の組織と機能についての検討

具体策・課題等	対応・取組・成果
・現状の検証 (議会基本条例の検証)	・議会基本条例の検証シートを作成し、条項ごとに実施状況等を評価した。令和5年1月、検証終了。

(4)委員会の充実

具体策・課題等	対応・取組・成果
・3常任委員会の検討	・現在の2常任委員会を3常任委員会にし、審査を充実させてはどうかといった趣旨で検討した。複数の常任委員会に所属し、所管事務全般について議論や調査を行うことで、広範囲な知識を得ることができ、議員の資質向上につながることがメリットとしてあげられる。一方で、委員の調査対象事項が大幅に広がり負担が増えることに加えて、常任委員会の同時開催ができなくなるなどのデメリットが大きく、3常任委員会は採用しないこととした。

(5) 映像配信・情報公開について

【検討項目】

①本会議の映像配信の充実、見直し

具体策・課題等	対応・取組・成果
・暫時休憩中画面のテロップ等の見直し	・映像配信中に閲覧されている方にも分かりやすいよう、休憩中テロップをいれることとし、令和4年第5回定例会から実施した。
・開会前、暫時休憩中のBGM配信の検討	・議員や当局は、本会議に緊張感を持って臨んでいることから、開会前や休憩中のBGM配信は実施しない。
・モニター設置の検討	・モニター設置や本会議場へのプロジェクターとスクリーンの設置については、現在の本会議場のカメラ・マイク等の設備が、約10年を経過しており、 <u>今後の議場等の改修計画の中で検討する。</u>
・資料投影機（プロジェクター）とスクリーン設置の検討	

②新たな公開方法の検討

具体策・課題等	対応・取組・成果
・インスタグラムやフェイスブックなどの活用の検討	<p>・広報特別委員会で、市議会だよりやホームページを工夫しながら、情報発信に努めてきている中、さらにインスタグラムやフェイスブック等も活用して、より多くの方に広く情報発信できないかといった観点で検討した。</p> <p>議会として、運用及び情報管理が難しいため、現状では困難である。</p>

③情報公開のあり方の検討

具体策・課題等	対応・取組・成果
・市民への情報公開と見える化の研究	・可能な限り市民への情報公開、見える化に努めていくこととし、本会議だけでなく委員会も映像を公開した方が望ましいとの意見があることから、本会議の映像配信の充実、見直しと同様に、 <u>今後の議場等の改修計画の中で検討する。</u>
・委員会の映像公開の検討	

いちき串木野市議会活性化のための市民アンケート

※該当するところに○、又は解答欄にてお答えください。

1. 基本事項 ※該当するところを○で囲んでください。

1 あなたの年齢は？

(20歳未満・20歳代・30歳代・40歳代・50歳代・60歳代・70歳代・80歳以上)

2 あなたの性別は？

(男性 ・ 女性)

3 あなたはどこの地区にお住まいですか？

(冠岳・生福・上名・大原・中央・本浦・野平・照島・旭・荒川・羽島・川南・川北・湊・湊町・川上)

2. 市議会からの情報について

【問1】市議会からの情報をどのようにして知りますか。(複数回答可)

- | | | |
|----------|--------------|-----------|
| A.市議会だより | B.市ホームページ | C.市議会の傍聴 |
| D.直接議員から | E.議員が発行する情報誌 | F.知人や友人から |
| G.その他() | | |

回答欄

3. 議員報酬について

●議員報酬(議員281,000円、委員長290,700円、副議長304,200円、議長387,600円)

【参考】人口規模の同じ市の状況 (人口は令和4年7月末日現在)

- ①いちき串木野市……人口26,564人、議員報酬281,000円
- ②鹿児島県伊佐市……人口24,192人、議員報酬266,000円
- ③大分県杵築市……人口27,440人、議員報酬306,000円
- ④高知県土佐市……人口26,427人、議員報酬310,500円

【問2】本市の議員報酬は妥当だと思いますか。

- | | | | |
|---------|-------|------|---------|
| A.妥当である | B.少ない | C.多い | D.わからない |
|---------|-------|------|---------|

回答欄

【問3】あなたが議員を目指すとしたら、どの程度の報酬が必要ですか。

- | | | |
|--------------|--------------------|------------|
| A.現在より少なくて良い | B.現在の額(月額281,000円) | |
| C.月額30万円 | D.月額35万円 | E.月額40万円以上 |
| F.その他() | | |

回答欄

4. 議員のなり手不足について

●全国的に議員のなり手不足が問題となっており、本市の市議会議員選挙においても、定数に対して候補者が少ない状況が続いています。

【参考】いちき串木野市議会議員選挙における定数と候補者数の推移

- ・2021年(令和3年)選挙……(定数16人に対し候補者17人)
- ・2017年(平成29年)選挙……(定数16人に対し候補者17人)
- ・2013年(平成25年)選挙……(定数18人に対し候補者19人)
- ・2009年(平成21年)選挙……(定数18人に対し候補者20人)

【問4】議員のなり手が少ない理由や問題点、課題は何だと思いますか。(複数回答可)

- | | | |
|----------------|--------------------|------------|
| A.報酬が少ない | B.議員活動に魅力がない | C.育児や子育て |
| D.介護や看護 | E.家族(家庭)の理解 | F.地域の支援、応援 |
| G.健康保険や年金制度が無い | H.在宅でも議会活動ができる環境整備 | I.議員政治倫理条例 |
| J.その他() | | |

回答欄

5.女性が議員を目指せる環境づくりについて

- いちき串木野市議会の議員定数は16人です。(現在…男性14人、女性2人)

【問5】女性が市議会議員を目指すためには、何が必要で、問題点や課題は何だと思いますか。(複数回答可)

- A.報酬等の見直し B.育児(託児)や子育て C.介護や看護
D.家族(家庭)の理解 E.地域の支援、応援 F.社会の意識改革
G.健康保険や年金制度が無い H.在宅でも議会活動ができる環境整備
I.その他()

回答欄

6.市議会議員の活動について

【問6】市議会議員の活動について、どう思いますか。

- A.議員活動がよくわからない B.精力的に活動していると思う
C.どのように接触して良いかわからない
D.要望や意見を伝えても動いてくれない
E.その他()

回答欄

【問7】どのようなことや活動を議員にしてほしいですか。

()

7.政務活動費について

- 政務活動費(月額10,000円)

【解説】政務活動費とは…調査研究、研修、広報、広聴、陳情等のほか、各種会議への参加など、市政の課題及び市民の意思を把握し、市政に反映するための活動等が対象になります。本市では議員個人に交付され、年度精算後、残額があった場合には返納となります。

【問8】本市の政務活動費の額は妥当だと思いますか。

- A.妥当である B.少ない C.多い D.わからない

回答欄

【問9】「妥当である」以外の回答の方にお聞きします。妥当でないと思う理由は何ですか。

【理由:]

回答欄

【問10】妥当な政務活動費の額はいくらだと思いますか。

- A.現在より少なくて良い B.月額1万円(現在の額) C.月額1万5千円
D.月額2万円 E.月額3万円 F.廃止してもよい

回答欄

8.自由意見

()

※アンケートへのご協力、ありがとうございました。

★記入されたアンケート用紙は、下記の方法で回答できます。

①アンケート用紙を回収箱に投函

(回収箱は、市役所串木野庁舎、市来庁舎、各地区交流センターに設置してあります。
(各地区交流センターが閉館中の際は、各センターの郵便ポストに投函できます。)

②FAX(32-3124、市役所串木野庁舎に送信されます)

いちき串木野市議会活性化のための

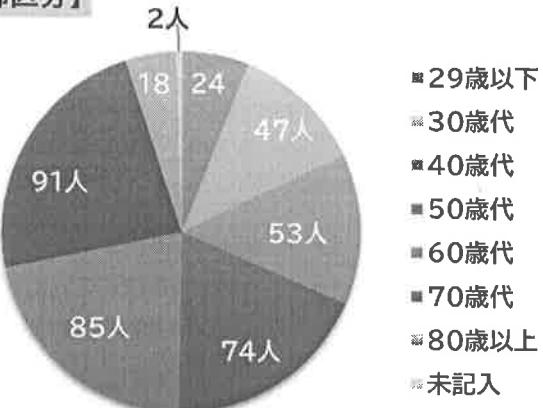
市民アンケート(調査結果)

令和4年11月から12月上旬にかけて実施したアンケート調査については、市民の皆さま方から、394件の回答をいただき、誠にありがとうございました。

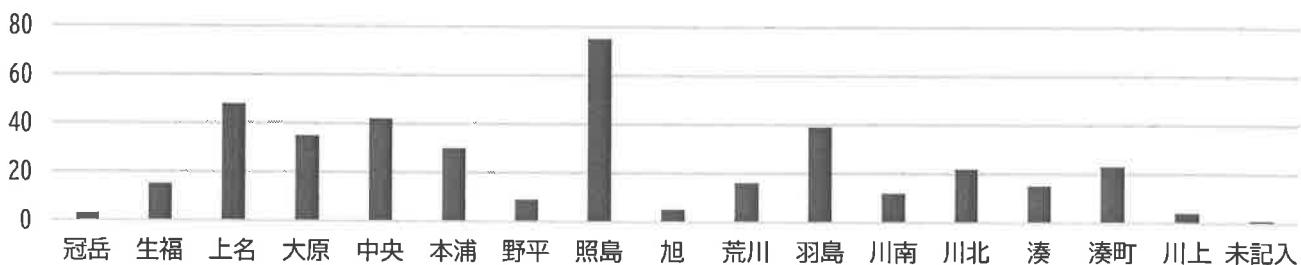
集計作業が終了しましたので、設問ごとの回答結果のほか、議会に対するご意見等についても要約して掲載いたします。

【性別】	男性 205人 (52.0%)
	女性 186人 (47.2%)
	未記入 3人 (0.8%)

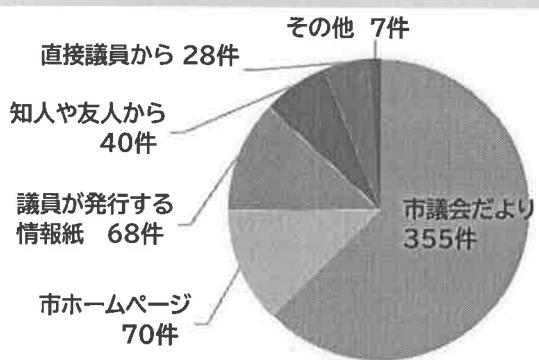
【年齢区分】



【地区】



【問1】市議会からの情報をどのようにして知りますか。(複数回答可)



【問2】本市の議員報酬は妥当だと思いますか。(月額 281,000円)



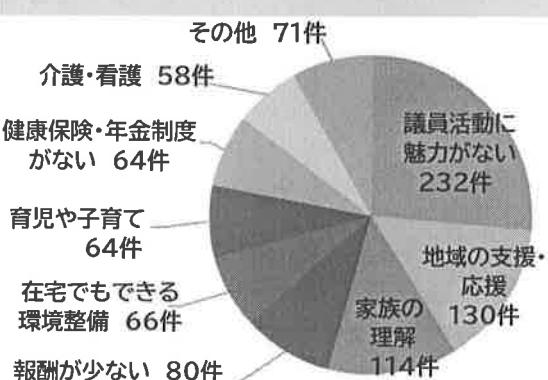
【その他意見】

- ・若い世代に手厚くしてほしい。
- ・ある程度は成果に応じて。

【問3】あなたが議員をめざすとしたら、どの程度の報酬が必要ですか。



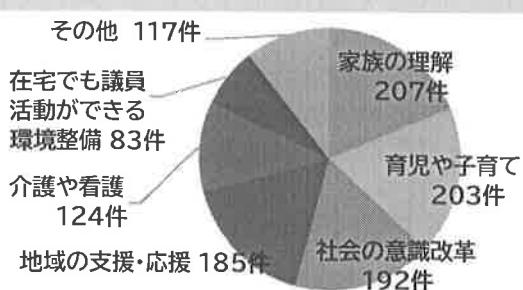
【問4】議員のなり手が少ない理由や問題点、課題は何だと思いますか。(複数回答可)



【その他意見】

- ・若者は落選すると生活の保障がない。
- ・活動がみえてこないので議員に魅力を感じない。

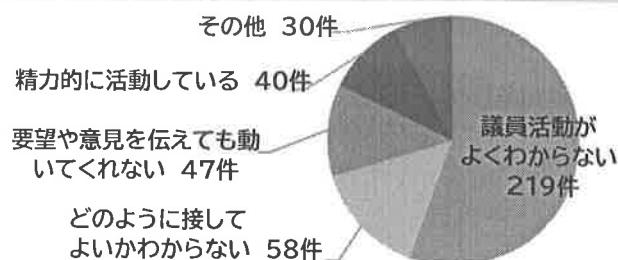
【問5】女性が市議会議員をめざすためには、何が必要で、問題点や課題は何だと思いますか。(複数回答可)



【その他意見】

- ・市政への興味・関心。
- ・女性の参画意識。など

【問6】市議会議員の活動について、どう思いますか。



【その他意見】

- ・どのような活動をしているか知る場が少ない。
- ・活動している方と、していない方との差がある。

【問7】どのようなことや活動を議員にしてほしいですか。

◆子育て・福祉・教育等に関するこ

- ・子育てしやすいまちづくりを積極的に行ってほしい。
- ・子育て世代の声をたくさん聞いてほしい。
- ・福祉、子育て環境などの問題点を議会に反映してほしい。
- ・高齢者や障害者、児童政策の拡充。
- ・学校給食の無償化。など

◆まちづくり・地域活動等に関するこ

- ・地域のまちづくりに協議会と共に取り組んでほしい。
- ・地域の活性化。
- ・今後の公民館活動を考えてほしい。など

◆空き家問題・生活環境等に関するこ

- ・空き家問題などを気軽に相談にのってほしい。
- ・身近な生活環境の整備。など

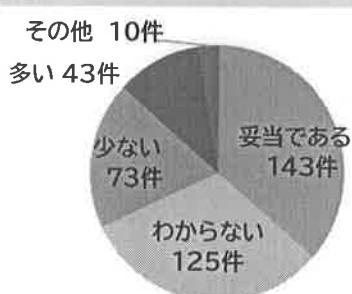
◆企業誘致・産業振興等に関するこ

- ・若者が定住できる社会環境づくり、企業誘致ほか。
- ・商店街の復興。
- ・無農薬の農業の推進、連携。など

◆政策の提案・その他に関するこ

- ・思い切った政策でいちき串木野市を明るくしてほしい。
- ・未来のいちき串木野市についての活動。
- ・市民との交流。など

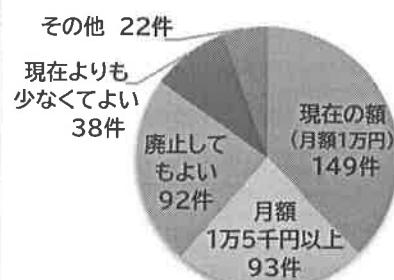
【問8】本市の政務活動費(月額1万円)の額は妥当だと思いますか。



【問9】政務活動費が妥当でないと思う理由は何ですか。

- ・報酬内で活動を。
- ・月額1万円では何もできない。
- ・本当に必要であれば必要額を支給。
- ・具体的な活動内容が分からぬるので何とも言えない。など

【問10】妥当な政務活動費はいくらだと思いますか。



【自由意見・その他の意見等】

- 議員定数を大幅に減らして報酬を今よりも多くしなければ、現役世代からの立候補は難しいと思う。
- 人口に対して議員の数が多いと思う。
- もう少し議員もボランティアを頑張ってもらいたい。
- 議員と市民の距離が遠く感じる。
- 市議のなかに、子育てに一生懸命に尽力してくださいの方がいたら嬉しい。
- もっと市民の意見を簡単に伝えられる場所があれば。
- 市民との対話をもっとすべき。
- 身近な市議になって欲しい。
- 議会中継を毎回見ているが行政への突っ込みが足りない。
- 若い人たちの新しい意見を取り入れていかないと街が衰退するばかり。
- 女性議員や若手の議員を増やしてほしい。
- サラリーマンでも議員になれるような制度があればと思う。
- 議員の高齢化が気になる。
- 現状の公民館は、3~5年後は限界集落に近い公民館となる。公民館合併や集落の活性化を考えてほしい。
- 議員の夢物語を発表してください。
- 市議会だよりが読みやすく毎回楽しみにしています。
- 誰かがやらなければならぬので頑張ってほしい。
- 大変でしょうが、魅力あるまちづくりを期待します。

令和4年度「市議会議員と高校生（串木野高校）との意見交換会」 (開催要項)

項目	摘要（詳細）	
1. 目的	選挙権が18歳以上に引き下げられたことに伴い、高校生に政治に対する理解と関心を持ってもらう。また、意見交換を通して高校生の思いや学校現場を知ることを目的とする。	
2. 対象、参加者数	市議会	<p>いちき串木野市議会議員(16人)</p> <p>濱田尚議長・松崎幹夫副議長・西田憲智議員・田畠和彦議員・高木章次議員・江口祥子議員・吉留良三議員・田中和矢議員・中村敏彦議員・大六野一美議員・東育代議員・中里純人議員・竹之内勉議員・下迫田良信議員・原口政敏議員・福田清宏議員</p>
	高校生	<p>県立串木野高等学校（在校生を対象）</p> <p>① 参加人数は概ね10人～20人程度とする。</p> <p>② クラス単位、学年単位、選抜（生徒会・希望者）など、参加者の選考は、学校にお任せする。</p>
3. 会場	<p>① 市議会の議場及び会議室（議員控室）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・串木野学の発表及び意見交換は議場にて行う。 ・今回は、分科会・班会は実施しない。 	
4. 開催期日、所要時間	<p>① 開催の期日は、<u>令和5年2月3日（金）</u>とする。</p> <p>② 所要時間は、午前10時から12時まで（2時間以内）とする。</p> <p>※集合は午前9時30分。</p>	
5. 全体的な流れ	<p>① 串木野学の発表「高校生3人～4人が発表」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1人5～10分程度の発表時間。 ・全ての発表が終わった後に講評、質疑を行う。 <p>② 意見交換（事前にテーマを決定しての意見交換）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1テーマについて15分～20分程度の時間配分とする。 <p>※テーマの選定は高校側に決定してもらう（2項目程度）</p>	

6. 意見交換の テーマ（案） の決定	<p>下記の「テーマの案」を参考に、高校生にテーマを決めてもらう。 テーマは2項目までとし、概ね1か月前までに決定する。</p> <p>『テーマの案』</p> <p>「a. いちき串木野ってどんなまち」、「b. どんなまちにしていきたい」、 「c. 魅力あるまちにするには」、「d. 高校生と選挙」、 「e. これからいちき串木野市に必要なこと」、 「F. 串木野高校への入学者を増やすためには」など。</p>																				
7. 当日の流れ (会次第)	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 30%;">◎日程等の説明</td> <td style="width: 70%;">9時30分～9時50分（議員控室にて） 自己紹介（15分）</td> </tr> <tr> <td>(1)開会（15分）</td> <td>①議場に着席し、議長の挨拶により開会 ②日程説明（進行係：中里純人議員） ③出席者紹介（5分） ④学校PR（5分）</td> </tr> <tr> <td>(2)発表（45分）</td> <td>①「串木野学」について高校生から発表 ※発表者3～4人（1人5分～10分） ②講評、質疑</td> </tr> <tr> <td>(3)休憩（10分）</td> <td></td> </tr> <tr> <td>(4)意見交換（45分）</td> <td>テーマをもとに意見交換（1～2項目程度）</td> </tr> <tr> <td>(5)閉会（5分）</td> <td>閉会のあいさつ（副議長）</td> </tr> </table>	◎日程等の説明	9時30分～9時50分（議員控室にて） 自己紹介（15分）	(1)開会（15分）	①議場に着席し、議長の挨拶により開会 ②日程説明（進行係：中里純人議員） ③出席者紹介（5分） ④学校PR（5分）	(2)発表（45分）	①「串木野学」について高校生から発表 ※発表者3～4人（1人5分～10分） ②講評、質疑	(3)休憩（10分）		(4)意見交換（45分）	テーマをもとに意見交換（1～2項目程度）	(5)閉会（5分）	閉会のあいさつ（副議長）								
◎日程等の説明	9時30分～9時50分（議員控室にて） 自己紹介（15分）																				
(1)開会（15分）	①議場に着席し、議長の挨拶により開会 ②日程説明（進行係：中里純人議員） ③出席者紹介（5分） ④学校PR（5分）																				
(2)発表（45分）	①「串木野学」について高校生から発表 ※発表者3～4人（1人5分～10分） ②講評、質疑																				
(3)休憩（10分）																					
(4)意見交換（45分）	テーマをもとに意見交換（1～2項目程度）																				
(5)閉会（5分）	閉会のあいさつ（副議長）																				
8. 当日までの スケジュール (議会側)	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 30%;">11月下旬（22日）</td> <td style="width: 70%;">議会活性化推進特別委員会の正副委員長協議 ※日程案・開催要項案・その他</td> </tr> <tr> <td>11月28日（月）</td> <td>議会運営委員会 ※開催期日、議会参加人数の確認（決定）</td> </tr> <tr> <td>11月30日（水）</td> <td>議員全員協議会への報告</td> </tr> <tr> <td>11月30日（水）</td> <td>議会活性化推進特別委員会 ※開催要項（案）について協議</td> </tr> <tr> <td>12月6日（火）</td> <td>串木野高校への連絡、打ち合わせ（2回目）</td> </tr> <tr> <td>12月20日（木）</td> <td>議会運営委員会 ※決定事項等の報告及び確認</td> </tr> <tr> <td>1月上旬</td> <td>串木野高校との打ち合わせ（3回目） ※テーマの決定</td> </tr> <tr> <td>1月19日</td> <td>議員研修会 ※全体的な流れの最終確認</td> </tr> <tr> <td>1月下旬</td> <td>議会側発言予定者の打ち合わせ (議長・副議長・各正副常任長・正副議運長)</td> </tr> <tr> <td>2月上旬</td> <td>当日</td> </tr> </table>	11月下旬（22日）	議会活性化推進特別委員会の正副委員長協議 ※日程案・開催要項案・その他	11月28日（月）	議会運営委員会 ※開催期日、議会参加人数の確認（決定）	11月30日（水）	議員全員協議会への報告	11月30日（水）	議会活性化推進特別委員会 ※開催要項（案）について協議	12月6日（火）	串木野高校への連絡、打ち合わせ（2回目）	12月20日（木）	議会運営委員会 ※決定事項等の報告及び確認	1月上旬	串木野高校との打ち合わせ（3回目） ※テーマの決定	1月19日	議員研修会 ※全体的な流れの最終確認	1月下旬	議会側発言予定者の打ち合わせ (議長・副議長・各正副常任長・正副議運長)	2月上旬	当日
11月下旬（22日）	議会活性化推進特別委員会の正副委員長協議 ※日程案・開催要項案・その他																				
11月28日（月）	議会運営委員会 ※開催期日、議会参加人数の確認（決定）																				
11月30日（水）	議員全員協議会への報告																				
11月30日（水）	議会活性化推進特別委員会 ※開催要項（案）について協議																				
12月6日（火）	串木野高校への連絡、打ち合わせ（2回目）																				
12月20日（木）	議会運営委員会 ※決定事項等の報告及び確認																				
1月上旬	串木野高校との打ち合わせ（3回目） ※テーマの決定																				
1月19日	議員研修会 ※全体的な流れの最終確認																				
1月下旬	議会側発言予定者の打ち合わせ (議長・副議長・各正副常任長・正副議運長)																				
2月上旬	当日																				

初開催!!

串木野高校生との意見交換会

2月3日(金)に串木野高等学校の3年生18名と議員16名で意見交換会を開催しました。選挙権が18歳に引き下げられたことに伴い、高校生に政治に対する理解と関心をもってもらい、また、意見交換会を通して高校生の思いを知ることを目的として、今回初めて高校生との意見交換を行いました。

議員控室でお互いに自己紹介をしたあと、議場で学校のPRや「串木野学」の発表、また2つのテーマについて意見交換を行いました。初めは少し緊張した面持ちでしたが、元気よく意見を述べてくれました。高校生の視点からのアイデアや提案にとても感心し、良い刺激を受けました。

学校PR

×高校生との意見交換

串木野高校は
一人一人だれも
が主人公になれ
る学校です！

永山嵐士さん・小松琢人さん

串木野学の発表



佐藤孝則さん・東隼也さん・小松琢人さん

いちき串木野市の食のイメージをさらに高めるには？

3号線沿いに「食のまち」がイメージできる魅力ある目立つ看板を設置しては？



神山奈々さん

いちき串木野市で自然に優しい家づくりを推進するには？

市の特産品であるサワーポメロに含まれるシトラールの成分で防虫剤がつくれるのでは？

サワーポメロ
フレグランス
プレーの認知度
を高めるには？
魅力的なロゴ
を作ってみて
は？



三野沙織さん

Withコロナの結婚式の新たな形を！

県内の様々な地で、野外ドレスを活用して写真を撮り、思い出を作る旅を提案します！



塚田和樹さん・小園実海さん

いちき串木野市立
図書館の利用者を
増やすには？

空き家をテーマごとの本が揃う図書館として活用しては？

川元あい子さん

意見交換テーマ1：

「串木野高校の入学者を増やすためには」

意見交換テーマ2：

「いちき串木野市を魅力あるまちにするには」

吉住愛美さん

現在新たな部活動同好会を設置し、令和5年度には、新しい制服を導入します。
ホームページだけではなく、インスタグラムなどのSNSを使って、生徒目線の情報を生徒自身が発信したらどうか？



西元拓歩さん

市外の人にも「食のまち」を知らせるためには、若い世代が利用しているインスタグラムやツイッターを利用した情報発信が必要では？

海に面し、魚が多くとれるので、南九州市にあるタツノオトシゴハウスのような小さな水族館を市で設置運営し、漁業体験やまぐろの解体など、家族連れが体験できるようなイベントを開催！アユア+α

串木野高校は、国公立大学をめざす人にとっても良い勉強の場だと感じる。
また、進学だけではなく、就職などそれぞれの面に向けての学習もできる。
もっとPRが必要！

安田結翔さん

部活動で串木野高校を盛り上げていくには、実績が必要なので、練習がたくさんできる環境の整備をお願いしたい！

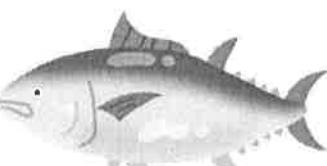


永山嵐士さん

串木野高校にも留学生を受け入れてみては？



緒方涉さん



高校生の皆さん、ご協力いただいた先生方、ありがとうございました。

いちき串木野市議会の政策提言の取組要項

区分	内容等
1.目的、ねらい	いちき串木野市議会基本条例第2条に基づき、「市民の多様な意見を的確に把握し、政策立案・政策提言等の取組の強化」に努める。課題解決に向けて、行政の取組状況の把握、現地調査、専門家からの意見聴取、各種団体との意見交換、先進地行政視察を行い、市の施策や事業に対して提言を行う。
2.取組の主体	各常任委員会ごと
3.取組の期間	1年間
4.取組の流れ (手順案)	①調査研究テーマの選定 ⇒ ②調査研究方法の協議・決定 ⇒ ③調査開始(現状把握・国県の動向調査・関係団体等との意見交換・専門家からの意見聴取・先進地行政視察) ⇒ ④現状分析・課題整理・調査事項まとめ ⇒ ⑤提言内容の協議(まとめ) ⇒ ⑥議会運営委員会及び全員協議会等での報告、確認 ⇒ ⑦本会議での報告(状況に応じて、中間報告) ⇒ ⑧市長への提言書の提出 ⑨場合によっては、「条例案の上程」
5.提言の目標、 時期等	○各常任委員会ごとに、1年に1回、少なくとも1項目の提言を行う。 ○提言に関する報告は、状況に応じて、本会議において中間報告を行う。ただし、緊急性のある提言についてはこの限りではない。
6.調査研究テーマ 選定の視点	○各常任委員会の所管に基づき、調査研究テーマを選定する。 ○市の課題とされている事業に視点を当てる。(例:人口減少、少子高齢化、空き家対策など) ○取組が遅れている事業、取組の成果が好ましくない事業、市民からの要望や要請が多い事業、取組の変更が必要と考えられる事業など、必要性や緊急性、重要度等を考慮し選定する。 ○本市のために、本当に必要とされる事業等。
7.推進体制の構築 、推進員の役割等	○政策提言を計画的かつ確実に推進するため、各常任委員会ごとに「推進員」を選出し、取組の推進を図る。 ○推進員は2人～3人体制が望ましい。 ○推進員は、計画的な推進を図るため、正副委員長と連携し、委員会での報告及び意見交換を行い、情報の共有化に努める。 ○推進員は、委員会での報告のほか、必要に応じて各種団体との意見交換会や先進地視察などの提案を行う。

「議員と語る会(意見交換会)」の新たな取組について

⟨開催要項⟩

1.目的、ねらい

いちき串木野市議会では、市民に開かれた議会への取組として、各種団体等を対象に「議員と語る会」を開催します。意見交換をとおして議会に対する理解を深めてもらうとともに、市民の皆さまからのご意見、ご提言等を聴取し、議会運営や政策提言に反映させようとするものです。

2.手法の見直し

新型コロナウイルス感染症の感染防止・予防を考慮しながら、各種団体との意見交換を、テーマを設定して取組むこととする。また、若年層や女性、子育て世代、高齢者等との意見交換や交流を望む市民意見も多くあることから、幅広い年齢層を対象とした、新たな「議員と語る会」の取組をスタートする。

実施にあたっては、各種団体等から申し込んでいただくことを基本とするが、市議会における政策立案・政策提言にあたり、必要に応じて、市議会から各種団体等に対し、働きかけを行う。

3.対象とする団体等

市内の各種団体等を対象に、多人数で行う語る会の開催を見直し、決められたテーマをもとに実施します。

(団体等の例)……市まちづくり連絡協議会、地区まちづくり協議会、市PTA連絡協議会、各小中学校のPTA、市女性団体連絡協議会、民生委員・児童委員協議会、市商工会議所、同青年部、市来商工会、市内の漁業協同組合、農業関係団体、市高齢者クラブ、地区体育部・補導部会、障害者団体、医師会、保育園協議会、子育て世代、など

4.申し込みの方法

有意義な意見交換会となるよう、テーマを選定し申し込んでいただく。原則として、開催希望日1か月前までに申し込み、事前に議会事務局と日程調整を行い、開催期日を決定する。

5.テーマの選定

テーマの選定に当たっては、市民と議員が意見交換できる内容のものとする。建設的な意見やアイデアの提案などがあれば議論が深まります。なお、道路整備や除草など、いつでも市の関係部署に要望・要請できる内容は対象外とする。

6.市議会の対応

申込を受けた後、議会運営委員会において対応等を協議する。当日の議員対応を常任委員会とするか、或いはそれ以外の方法での対応とするかを決定する。なお、申込者からの要望等がある場合には、その旨考慮して協議する。